

実施アクティビティの紹介

【Donate a photoの紹介】：担当 高江・及川・横山

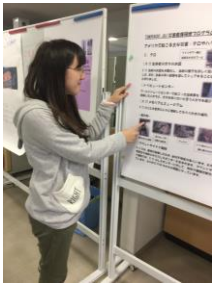
実施日時：2016年10月9日(日)、10日(月)

実施会場：東北大学星陵キャンパス

対象者：東北大学 第23回医学祭の来場者

概要：

医学祭の来場者の方にDonate a Photoについて知ってもらい、その場で写真を投稿することで社会貢献をしてもらった。You tubeの紹介動画を見せて一緒に登録をした後、寄付先の団体を選んで写真を投稿。寄付先は模造紙に説明を書いておき説明した。模造紙を使い、研修の様子も写真とともに紹介。



【研修報告会&災害看護勉強会】：担当 藍原

実施日時：2016年10月6日(木)

実施会場：福島県立医科大学 看護学部棟内 教室

対象者：看護学生 看護学部教員 病院看護師 大学院生

概要：

- ①加藤郁子先生「東日本大震災における福島県立医科大学附属病院の患者受け入れについて」
- ②末永カツ子先生「東日本大震災における保健師活動」
- ③大川貴子先生「相双地域における精神科医療の充実を図るために」



【GO BAGワークショップ】：担当 緑川・馬場／佐々木・明下

<緑川・馬場>

実施日時：2016年10月15日(土)

実施会場：福島県：白河市立図書館会議室

<佐々木・明下>

実施日時：2016年10月8日(土)

実施会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

対象者：看護師を目指す看護学生

概要：

GO BAG(非常用持ち出し袋)作成を通して、実際に必要な物品を考えたり、工夫できる点を考えるワークショップを実施。米国での学びを共有し、今後日本でも起きる可能性がある災害について看護学生として、また将来看護師としてどのような対応ができるかを考えた。



実施アクティビティの紹介

【防災意識向上ワークショップ】：担当 石川

実施日時：2016年11月12日(土)

実施会場：東北福祉大学内 教室

対象者：宮城在住の外国人と留学生(大学生・大学院生)と東北出身／在住の日本人大学生

概要：

国際ボランティアサークルにおいて、宮城在住の外国人および留学生を対象に防災教育を実施。東日本大震災で起きたことの説明、東日本大震災を経験した留学生のスピーチ、実際の物品を手に取りながらの非常用持ち出し袋の作成を行った。



【学内にて災害対策委員会(仮称)の設立】：担当 澤田

実施日時：2016年12月1日(木)

実施会場：仙台医療センター附属仙台看護助産学校

対象者：学内学生1～3年生(希望者)

概要：

- ①学校で報告会を開く。そして、報告会後に災害対策委員会(仮)の募集を行う。
- ②災害対策委員会(仮)が中心となって、病院と連携した避難訓練の実施や寮の防災対策の強化をする。
- ③災害対策委員会で深めた学びを来年度の学祭で地域の方に発信する。



【留学生向けプレゼンテーション／ワークショップ】：担当 千葉

実施日時：2016年12月16日(金)

実施会場：宮城大学 学内（「日本事情」という授業の中の一環として留学生向けに開催）

対象者：学内の留学生

概要：

災害弱者となり得る可能性があることの注意喚起と、今から何をしなければならぬのかについてのプレゼン、またはグループワークで何があれば便利か、助かるかの案を挙げてもらい、ニーズを把握する。



【仮設住宅訪問】：担当 須藤

実施日時：2016年12月末予定

実施会場：南三陸町平成の森の仮設住宅

対象者：仮設住宅に住む高齢者

概要：

仮設住宅を訪問し、草取りや体操、お茶っこ、足湯から入り口を広げ話を傾聴したり、血圧測定をする。また、学内でサークルを立ち上げ今後も持続的にこの活動を行う。